

現本庁舎の課題（A グループ）

① 行政機能の分散配置

- ・ 農政と都市計画に係る相談の際、菖蒲行政センターと第二庁舎へ足を運んでもらう必要がある。

② 来庁者への配慮不足

- ・ 案内表示が少ない。見づらく、分かりづらい。
- ・ 外国人に分かりやすい案内表示となっていない。
- ・ 障がい者や高齢者に配慮して福祉に係る窓口は、1階に配置すべき。
- ・ 市民税課、資産税課、収納課、出納室及び国民健康保険課については、関連のある相談が多いことから、近くに配置すべき。
- ・ 通路が狭く、車いすですれ違いができない。
- ・ 手すりが少ない。
- ・ タイルの床は、杖を使用する来庁者に対して危険。台車を使用する際の音もうるさい。
- ・ 市民課等の窓口で、プライバシー保護のためのパーテーションがない。
- ・ 窓口が狭く、隣の窓口の相談内容が聞こえてしまう。
- ・ 窓口が狭いため図面を広げられない。
- ・ 天井が低く声が響きやすいため、窓口での相談内容が聞こえてしまい、プライバシーが守られない。
- ・ 窓口が少ないため、お客様を長く待たせてしまっている。
- ・ 書類を受けとるだけ等、短時間で対応できる来庁者用の窓口がない。
- ・ 申請書類の記入の仕方が分からない来庁者への配慮として、申請書を書かなくても申請できる窓口がない。
- ・ 待合スペースが狭い。
- ・ 消費生活センターを訪れる相談者の待合スペースがない。
- ・ キッズスペースが小さい。
- ・ 授乳、おむつ替え、幼児用トイレがない。
- ・ トイレが少ない。
- ・ トイレ、エレベーターが狭い。
- ・ エレベーターの場所が分かりづらい。
- ・ 警備室は正面玄関付近の方が、集会所の鍵などの受け渡しをスムーズにできる。
- ・ 駐車場が少ない。
- ・ バス停に屋根がなく、雨宿りや日除けができない。
- ・ 天井が低く圧迫感が強い。

③施設・設備等の老朽化

- ・ 執務室や待合室、階段の照明が暗い。
- ・ 庁舎内の各階・各執務室によって、空調の効き目に違いがある。

④狭隘な執務室

- ・ 執務室内に必要な数の什器を置くことができない。
- ・ 執務室内に介護認定調査員の作業スペースを準備することができない。
- ・ 窓口から執務室内の様子を見渡すことできてしまうほか、職員の打合せ内容なども聞こえてしまう。
- ・ 作業や打合せに利用できるフリースペースがない。
- ・ 窓口以外に対応するための個室、スペースがない。
- ・ 食事のためのスペースがない。
- ・ 倉庫、収納場所が足りない。
- ・ キャビネットが足りない。

⑤災害発生時への備えや環境への配慮の不足等。

- ・ 業務の効率化に向けた技術の導入が不十分。
- ・ 防犯カメラを増設すべき。
- ・ 録音機能、ナンバーディスプレイ機能付きの電話機が必要。
- ・ コピー機が少ない。
- ・ 職員用トイレが足りない。
- ・ ロッカーが足りない。
- ・ 子育て支援課の執務室には窓がない。
- ・ ポスターなどを掲示するための掲示板の数が少ない。
- ・ 什器の仕様が統一されていないため、異動の際に不便。
- ・ 什器が古い。